

## 平成 28 年度 四国支部視察研修会 実施報告書

- 1 視 察 先 : ①ケーブル技術ショー2016  
②総務省 関東総合通信局 電波監理部
- 2 研修期間 : 2016 年 7 月 28 日～29 日 (2 日間)
- 3 参加者 : 9 名 (4 社)

### ①7/28(木) 13:30 ～ ケーブル技術ショー2016 視察 (東京国際フォーラム)

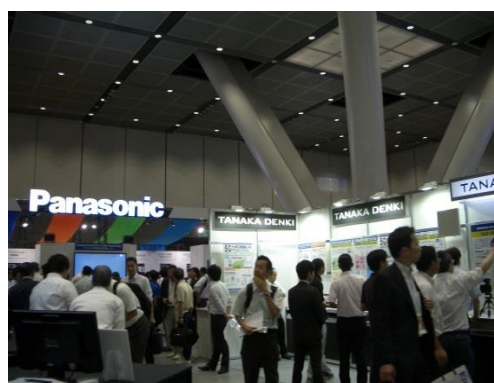
平成 28 年度四国支部技術者養成事業の一環として、「ケーブル技術ショー2016 視察研修会」を実施した。

今年の技術展示会来場者数は2日間で10,732人、技術セミナー参加者は1,350人であった。出展者 78 社により 72 ブースが設けられ、セミナーは 2 日間で 22 セミナー開催された。今年「ケーブルが拓く！未来の CATV ネットワーク社会」をテーマに CATV に関する最先端の技術や製品、ソリューションが集結した。テーマ展示ゾーンでは 4 つのエリアに分かれており、一般来客者向けに CATV の仕組みを紹介するとともにスーパーハイビジョン (8K・4K) ケーブル伝送技術や防災情報の CATV 伝送技術、防災への取組みなども紹介されていた。ケーブルテレビの最新技術をより一層身近に感じることができる展示会であった。また技能五輪選手による光ファイバ・LAN ケーブルの接続実演なども行われており、大勢の来場者で賑わっていた。

#### <参加者の感想>

- ・ 4K に対応すべく測定器が出展されていた。
- ・ ケーブルテレビのライフラインとしての役割や各社の取組み、防災等への取組みが印象に残った。
- ・ 4K・8K の映像系が発展しており、リモートに関する展示も増えた気がする。
- ・ ケーブルテレビ事業者の設備更新時期に重ならなかったため、出展メーカー自体も少ないように感じられた。
- ・ 新型の伝送装置や音声分配器などの機器の展示が多い中でサーバー室向けの免震ケーブルが目をつけた。今回は 1 つしか展示がなかったが今後はより良いものを作っているのではないか。
- ・ 南海トラフ地震発生時の防災対策について紹介があり、インフラ整備が整った時代に既存インフラを如何に活用できるか今後の参考になった。
- ・ 今後普及していく 4K・8K テレビを近くで見ることができて良かった。

etc.



②7/29 (金) 10:00 ~ 総務省 関東総合通信局 電波監理部視察 (第3合同庁舎)

視察研修先として、関東総合通信局 電波監理部に訪問した。電波監理部では不法電波や混信を排除し、良好な電波利用環境の維持に努める電波監視業務を行っている。研修会では不法無線の実態から電波監視業務の概要まで分かりやすく説明を受けた。実際に不法無線機器などを見せて頂き、電波利用のルールや電波監視業務の重要性について詳しく知ることができた。また電波監視システム DEURAS は用途に応じて様々なタイプに分類され、各方面で広く活躍していることも知ることができた。普段見ることのできない施設を見学でき貴重な体験ができた。

#### <参加者の感想>

- ・電波障害調査の仕組みを教わり貴重な体験ができた。
- ・妨害電波の影響や対策への取り組みが興味を引いた。
- ・通常目にする事のない部分を見学でき、興味深く感心した。
- ・測定車やレーダーサイトも見学してみたかった。見れない部分があったのは残念。
- ・免許の発行や登録、届出等を行っているイメージしかなかったが今回電波監視業務を行っていることを改めて知ることができた。
- ・電波監視業務を実際に運用している状態を見学できて楽しかった。
- ・我々の業界に関連する内容も折り込んで頂いたため非常に聞き取りやすかった。
- ・全国どこからでも数MHz～数十GHzまでの電波を探索できることに少々驚いた。

etc.



#### <編集後記>

視察研修にて知り得たことがたくさんありました。今後も皆さんの勉強・情報交換の場として視察研修会を続けて参りますので、宜しくお願い致します。